

毛沢東



9・26 石川禎浩

(京都大学人文科学研究所教授)

毛沢東——書家として、詩人として

10・3 江田憲治

(京都大学人間・環境学研究所教授)

毛沢東の「農村による都市の
包圍」戦略——淮海戦役を中心に

10・10 丸田孝志

(広島大学総合科学研究科教授)

毛沢東像の成立

10・17 谷川真一

(神戸大学国際文化学研究所教授)

毛沢東の文革思想

——ユーートピアから陰謀論まで

だどんが男 だつたのが

各日とも18時30分～20時
京都大学人文科学研究所本館 セミナー室1
●聴講無料、事前申し込み不要



人文研アカデミー2019 連続セミナー

その死から40年以上たった今も、中国での毛沢東の存在感は、なお他の追随を許さぬものがあります。ただし、「不世出の革命家」「赤い太陽」「偉大なる舵取り」、こうしたイメージはもはや薄れ、代わってこの頃は「冷酷な独裁者」「革命妄想家」、はては「稀代の好色家」というレッテルさえ貼られるようになってしまいました。かれの死後、大きく変貌し、世界の大国となった今日の中国を、かれが見たらどう思うでしょう。この問いには、毛沢東という男の人となりを理解しなければ、答えることはできません。人文研で4年間にわたって行われた共同研究班「毛沢東に関する人文学的研究」のメンバーが、さまざまな角度からこの巨人に迫り、最新の知見と知られざる毛沢東像を提示します。あなたもあの男に会いに来ませんか？

毛沢東



石川禎浩 (いしかわ・よしひろ)

京都大学人文科学研究所教授
 専門：中国共産党史
 主な著作：『革命とナショナリズム』(岩波書店、2010)
 『赤い星は如何にして昇ったか—知られざる毛沢東の初期イメージ』(臨川書店、2016)
 『中国近代の巨人とその著作—曾國藩、蔣介石、毛沢東』(共著、研文出版、2019)



江田憲治 (えだ・けんじ)

京都大学人間・環境学研究科教授
 専門：中国共産党史
 主な著作：『世界史からロシア革命：世界を揺るがした100年間』(共著、柘植書房新社、2018)
 「中国共産党史における翻訳概念—「路線」と「コース」をめぐって」(石川禎浩・狭間直樹編『近代東アジアにおける翻訳概念の展開』、京都大学人文科学研究所現代中国研究センター、2013)



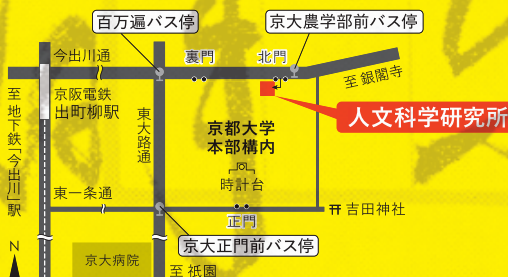
丸田孝志 (まるた・たかし)

広島大学総合科学研究科教授
 専門：中国近現代史
 主な著作：『革命の儀礼』(汲古書院、2013)
 「民間信仰と「革命の伝説」：祈雨、変天、神水・神薬を巡る建国初期中国の民衆と権力」、笹川裕史編『戦時秩序に巣喰う「声」』(創土社、2017)
 「毛沢東の物語の成立と展開：日中戦争から建国初期」(『東洋史研究』77-4、2019)



谷川真一 (たにがわ・しんいち)

神戸大学国際文化学研究科教授
 専門：現代中国の政治と社会
 主な著作：『中国文化大革命のダイナミクス』(御茶の水書房、2011)
 『フロンティアと国際社会の文化大革命』(共著、集広舎、2016)
 「政治的アイデンティティとしての「造反派」」(『思想』1101、2016)



●京阪電鉄「出町柳駅」下車徒歩15分
 ●市バス 3・31・65・201・206系統「百万遍」下車徒歩4分／17・203系統「京大農学部前」下車徒歩1分
 いずれも京都大学北門入ってすぐ右 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい

ど つた たの か ん が な 男